

JCI HIKONE

一心一意！ 夢、希望溢れるひこねへ！



2021年度 卒業生インタビュー＜後編＞

特集記事！

2021年度を振り返る～＜後編＞

一心発起！ TAKE ACTION！
～公益社団法人 彦根青年会議所～

発見！ひこねの魅力体験記！総集編

一心同体！ 夢、希望溢れる同志たち！
第68代理事長 ～北村 忠征～

総務広報委員会より御礼

写真：彦根青年会議所メンバー



特集記事！ 卒業生インタビュー＜後編＞

JCI彦根 月報11月号、12月号の2カ月に渡り、2021年度卒業生である5名（前編：熊谷茂政 君、中島正善 君、福澤俊治 君。後編：木田乃輔 君、宮川佳典 君）のインタビュー記事を掲載させていただきます！今回は「木田乃輔 君」、「宮川佳典 君」の2名にインタビュー！2014同期入会の2人。彦根青年会議所を芯から支え続けてきた両名の熱い想いをご覧ください！

質問：長きに渡るJC生活。率直にいかがでしたか？

木田：一言で表すのならば「入会して本当に良かった！」という想いです。私はサラリーマンという立場で入会をしましたが、普段会社では経験できない出来事、刺激が多分にあり多くの学びを得ることができました。また私とは違う立場のメンバー、つまりは経営者たちの目線、考え方を知ることができたことも大きな財産です。

質問：JCでの一番の思い出は？

木田：一つに絞るのは難しいですね（笑）それほどまでにJCでの思い出は心に残るものです。入会して初めて参加した例会での挨拶。2016年の委員長経験。2018年の室長経験…役を受けた年すべてに学びがあり、思い出が詰まっています。そしてその年に関わった全てのメンバーからも学びを得たことが良い思い出です。

質問：今だから思う、JCの魅力とは？

木田：JCの魅力は人それぞれだと思います。一番大事なことはJCに入会して、自分が「何をするのか、どこまで一生懸命になれるのか、です。JC活動は多くの時間を割き、辛いことも多いです。時には逃げ出したくなることもあるでしょう。しかし真正面から向き合えば得るものも大きく、それが結果として「自分が思うJCの魅力、となるのではないのでしょうか。

質問：最後にJCで関わった全ての人たちにメッセージをお願いします。

木田：まずはJCへの入会を勧めていただきました一圓社長はじめ、文教スタジオの皆様、8年間という長い期間ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。しかし、この青年会議所活動で得た学びや繋がりは私にとって財産となりました。これらをこれからの仕事に活かして行くことが感謝をお伝えするよりも必要なことだと思っています。今一度襟を正し社業に邁進するとともに、文教スタジオの発展に大いに寄与することをお誓い申し上げます。一旦は2021年度で現役を引退する身として、これから彦根青年会議所を盛り上げて行く後輩の皆さんへ一言だけ、送ります。一心一意に何事にも取り組んでいれば、必ず道は開けます。たかがJCではなく、JCだからと言う気持ちで途中で挫けても卒業まで必ず在籍して、卒業例会に参加をしてほしいと切に願います。ありがとう！

木田 乃輔

History of ~Daisuke Kida~

- 2014年 入会
総務委員会 委員
- 2015年 総務委員会 副委員長
- 2016年 アメイジングひこね創造委員会
委員長
全国城下町シンポジウム 事業部会
ソーシャルネットワーク推進委員会
理事
滋賀ブロック協議会
広報戦略確立委員会 小幹事
全国城下町青年会議所連絡協議会
事務局次長
- 2018年 組織いきいき室 室長
想いを紡ぐRevision特別委員会 委員
- 2019年 事務局長
ひこねスピリット確立委員会 理事
近畿地区協議会
幸せな近畿確立委員会 委員
- 2020年 専務理事
財政規則特別委員会 委員
滋賀ブロック協議会
JC連携推進委員会 委員
- 2021年 副理事長
近畿地区協議会
総務・広報戦略委員会 委員
卒業



入会当時の写真



質問：長きに渡るJ C生活。率直にいかがでしたか？

宮川：本当に実り多き時間を過ごさせていただきました。だからこそ「もう少し早くに入会しておけば良かった…」という気持ちもあります。J Cでは役を受け貴重な経験をする事で多くの学びを得ます。更にはL O M（彦根）に留まらず、滋賀ブロック、近畿地区、日本と活動する範囲を広げれば広げるだけ、広い視野で物事を見れるようになります。J Cでの活動期間が長ければ、それだけ役を受けられ、学びのチャンスを得ることになりますからね。

質問：J Cでの一番の思い出は？

宮川：多くの思い出がありますが一番は2016年の全国城下町シンポジウム彦根大会ですね。同年私は総務委員長、そして全国城下町シンポジウムの式典部会の委員を務めさせていただきました。会員大会の運営は初めてで正直大変なことも多かったのは事実ですが、その分学んだことも多く、今でも強く印象に残っている年です。

質問：今だから思う、J Cの魅力とは？

宮川：多くの人々との「出会い、ではないでしょうか。自分と異なる感性を持った人たちとの関わりは多くの実りをもたらしてくれます。J C活動は真正面から向き合うほどに「真剣な場、に出会えます。そこではおのずと自分の弱点を発見することになります。そして逆に自分の知りえなかった才能も発見できます。それらは全て自分が成長する糧となり、可能性を引き出してくれる。そういった一連の流れがJ Cの魅力だと私は思います。

質問：最後にJ Cで関わった全ての人たちにメッセージをお願いします。

宮川：まずは地域に住み暮らす方々に、そして行政含め関係諸団体の方々に、心からの感謝の気持ちをお伝えします。そしてここからはお願いです。彦根青年会議所は物事を前に推し進めることを得意とする推進力のある組織です。この地をより明るく豊かにするために、もっともっと私たちに頼ってください。私たちは皆さんが困っていることをお手伝いできます。互いに協力し合えばこの地域は成長し、より良いまちにすることが可能です。最後にこれからの彦根青年会議所を盛り上げてくれる後輩たちへ。まずはJ C活動とそこで得られる経験を楽しんでください。そうすればおのずとJ C活動の本質が見えてきます。自分たちがしていることが地域にとって「おもしろい、ことだと気付くはず。真剣に向き合えば必ず皆さんの成長に繋がり、自分がJ Cに入会した意味を知ることができますよ。今まで本当にありがとうございました。関わった全ての人々に、心より感謝申し上げます。

宮川 佳典

History of ~Yoshinori Miyagawa~

- 2014年 入会
ひこねオリジナル創出委員会 委員
- 2015年 財政特別委員会 委員
総務委員会 委員
会計
滋賀ブロック協議会
アカデミー委員会 委員
- 2016年 総務委員会 委員長
全国城下町シンポジウム 式典部会
- 2017年 地域未来創造委員会 理事
会員拡大特別委員会 委員長
全国城下町青年会議所連絡協議会
事務局次長
- 2018年 専務理事
滋賀ブロック協議会
J C連携推進委員会 委員
- 2019年 副理事長
会員拡大プロジェクト特別委員会
委員
全国城下町青年会議所連絡協議会
監事
- 2020年 第67代理事長
全国城下町青年会議所連絡協議会
監事
- 2021年 直前理事長
近畿地区協議会 会務担当副会長
卒業



入会当時の写真



特集記事！ 2021年度を振り返る～＜後編＞

北村忠征理事長を筆頭に『一心一意！夢、希望溢れるひこねへ！』をスローガンとして掲げ活動を行ってきた私たち彦根青年会議所。国内におけるコロナ禍の収束の兆しが見え始めた2021年度後半の活動の様子をJCI彦根12月号では掲載させていただきます！JCIの三信条は【奉仕・修練・友情】！2021年度、最後の日まで全力で走り続ける、私たち彦根青年会議所の活動内容をご覧ください！



～7月度例会～ The Memorial Day

7月3日、満を持して迎えた近畿地区大会彦根大会！一時は新型コロナウイルス感染症の影響により開催自体が危ぶまれましたが、式典及びフォーラムを開催することができました。開催にあたり何カ月も前から準備を進めてきた山田委員長を始めとする彦根青年会議所メンバー。そしてシニアクラブの多大なご協力を得たことにより実行に移せた晴れの舞台。北村理事長の堂々たる挨拶。ひこねのまちと彦根青年会議所の活動が映し出されたオープニング動画。滋賀大学のオープニングアクト。コロナ禍のなかにあっても、私たちの活動の意義をしっかりと示した本大会は正に「The Memorial Day」の名に恥じぬ、メンバーの心に深く刻み込まれた大会となりました！

～8月度（臨時総会）例会～ 組織の規律を高めよう！

8月6日、彦根青年会議所の規律を高めるべく、8月度（臨時総会）例会～組織の規律を高めよう！～にて、尊敬する先輩諸兄姉より脈々と受け継がれる定款・諸規定、そして品格ある青年経済人を体現するJCIマナーの重要性を学びました。当日の説明資料には歴代理事長である安居輝人先輩、西崎匠先輩も登場！また、同日行われた臨時総会では、2022年度の委員会設置、公選理事選出の選挙など、次年度のカタチがより鮮明なものとなる会となりました。



～10月度事業例会～ 私たちのまち ひこね

10月16日、待ちに待った事業例会～私たちのまち ひこね～が開催されました。伝統ある事業彦根城写生大会、そして新たな取り組みとして、ひこねの夜空を輝かせる「LEDスカイランタン」、双方ともに地域の方々をお招きする一大事業！天候にも恵まれ、大人から子どもまで、家族揃って多くの方々にご参加いただき、彦根青年会議所メンバーはもとより、地域に住み暮らす方々に、今一度彦根城を始めとする地域資源の魅力に触れていただく日となりました！

～11月度（家族）例会～ 感謝の気持ちを持ち続けよう

11月6日、彦根青年会議所メンバーを日々支え続けてくれているご家族への感謝の気持ちを再認識した11月度（家族）例会が開催されました。執行部タイムでは大切な家族を守るために必要な社会保障制度を学ぶとともに、ご家族からのJCI活動に対する想いが書かれた事前アンケートから、メンバーそれぞれが一人プレインストリーミングを行い家族への心からの感謝の気持ちを発表しました。JCI活動に対する家族の疑問や不満に真正面から向き合った、学び多き例会でした！



～モザイクアート製作～ 卒業会員への贈呈作品

11月13日、コロナ禍を発端とする緊急事態宣言発令により中止された9月度例会～全集中！参つの呼吸で連携しよう！！～内で行われる予定であった2021年度卒業会員への贈呈品「モザイクアート」製作を行いました！モザイクアートは卒業生への感謝の気持ちを込めて、一枚一枚メンバーが手作業で制作。完成した作品には「絆」の文字！終始和気あいあいとした空気の中、今一度メンバー間の絆を再確認した時間でした。

～12月度（卒業）例会～ 最高の仲間と共に感動と感謝を分かち合おう！

12月5日、2021年度最後となる例会が行われました。一心一意に取り組んできた本年度の活動を振り返り、感謝の気持ちを分かち合うとともに、卒業会員の功績を称え、青年会議所活動で歩んできた熱い想いを共有した本例会。理事長挨拶に始まり、各委員長の感謝の気持ち、そして卒業会員たちの熱い想いが語られました。最高の仲間と共に一心不乱に駆け抜けた2021年度！最終例会として最高のフィナーレを迎えた彦根青年会議所でした！



一心発起！ TAKE ACTION！

連載記事「一心発起！TAKE ACTION！」では、地域（彦根市、米原市、多賀町、甲良町、豊郷町、愛荘町）の活性化に繋がるACTION！を起こしている組織内外の人物や組織を対象に、

12ヵ月に渡り記事を掲載していきます！

12回目、最終回となる今回は、私たち「公益社団法人 彦根青年会議所、（JCI彦根）活動地域（彦根市、米原市、多賀町、甲良町、豊郷町、愛荘町）の活性化を目指し68年の長きに渡り活動が続ける彦根青年会議所に注目です！！

1958年、この「ひこね」の地に、地域活性化を背負う志高き青年経済人が相集いました。彦根青年議所は、滋賀県彦根市、米原市、多賀町、甲良町、豊郷町、愛荘町の地域において「奉仕・修練・友情」の信条のもと、地域に住み暮らす青年の資質の向上と啓発に努めるとともに、国際的理解を深め、地域社会の健全な発展、世界の平和と繁栄に寄与することを目的とし設立されました。

そもそもJCI（Junior Chamber International）とは、20歳から40歳までという年齢による在籍制限があります。また単年度制による組織形態の変更を行い、変わり続ける世の情勢を青年世代の目線でいち早く感じ取り、時代を先ゆく思想のもと、事業を計画・実行に移していく組織です。



彦根青年会議においても過去より数々の事業を創出、実施してまいりました。彦根城写生大会、彦根シティマラソン、総踊り、カラム大会がその一例です。メンバーは組織のトップである理事長の所信のもと、各委員会が方針を立て「奉仕・修練・友情」の信条のもと行動を起こします。また、過去に行った事業を翌年以降も開催するにあたり、例にならって同じことを「そのまま実行、することはありません。先人の経験を基にしつつ、必ずブラッシュアップした計画を立てます。それにより更に効果的な活動に繋がるとともに、若きメンバーの成長に繋がるのです。

2021年度の彦根青年会議所は「北村忠征、理事長のもと、本年度のスローガンである「一心一意！ 夢、希望溢れるひこねへ」を掲げ、コロナ禍渦巻く世においても、活動に邁進してまいりました。本年度は近畿地区全94に及ぶ青年会議所が一堂に会する「近畿地区大会」がこのひこねの地にて開催されました。それだけではなく、コロナ禍により2020年度は中止となった「彦根城写生大会」の開催、新たな取り組みとして「LEDスカイランタン」など、地域住民の方々を巻き込んだ形での事業も実施させていただきました。



彦根青年会議所の活動は決して楽なものではありません。楽しい事よりも、辛く苦しい事のほうが多いかもしれません。しかし、それらの修練を乗り越えた時こそ、人は大きく成長し、その成長は地域の成長、活性化にも繋がっていきます。今の私たちが住み暮らすひこねの地の発展は、紛れもなく彦根青年会議所の先輩方を含む先人たちの血の滲む努力があってこそ。次の時代を、このひこねの未来を、より明るく、より豊かなものとするために、これからも一心一意に、そして勇猛果敢に、私たちは活動が続けてまいります。



一心同体！ 夢、希望溢れる同志たち！

最終回となる今回は2021年度 彦根青年会議所の理事長として、メンバーを導いてくれた北村忠征君にインタビューを行いました！「一心一意！ 夢、希望溢れるひこね」をスローガンとして掲げ、いかなる時も前を、そして上を見続け、私たち彦根青年会議所を引っばってくれた北村理事長。1年間の活動を通じて感じた熱い想いが北村理事長の口から語られました！

質問：まずは2021年度 第68代理事長としてメンバーを先導してこられましたか、理事長としてどんな1年になりましたでしょうか？

北村：2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の猛威が振るう中でスタートでしたが、出来る限りの活動を模索し、それを実行できた年になったと思います。目の前に障害が立ちはだかった時、やめること、は簡単です。でもそれをしなかった。なぜならば私を含めたメンバーの彦根青年会議所活動と、地域への熱い想いがあったからです。また、本年度は特に委員長たちが頑張ってくれたと感じています。それが結果にも表れた年になったのではないのでしょうか。

質問：第68代理事長という大役を終えるにあたり、今のお気持ちをお聞かせください。

北村：プレッシャーはそれほどありませんでした。いかなる時も自分らしく、前だけを見て進もうと心に決めていましたからね。ただ、2021年1月6日に開催された、新年交流例会、の挨拶は緊張しました（笑）あれを乗り越えたからこそ、本年度理事長として胸を張り活動をしてこられたのだと思います。

質問：北村理事長のもと、先頭に立って活動に邁進してきた委員長たちの活躍はいかがでしたでしょうか？

北村：本当に皆がよく頑張ってくれたと感じています。総務広報委員会の夏原委員長は、総務面で組織の規律を強化しつつも、広報面では彦根青年会議所の新時代の基礎を作り上げました。組織の絆確立委員会の大野委員長は、少し抜けているところがありながらも、それを大きく補うほどの必死さとレスポンスの良さが光り、拡大に貢献してくれました。地域活性委員会の車委員長は、日本語のハンデをものとしめない行動力と想いの強さで、大型事業を見事に完遂してくれました。近畿地区大会実行特別委員会の山田委員長は、主管LOMの実行特別委員長というプレッシャーを跳ね除け、最後までやりきっていただきました。今想うと、私は本当に素晴らしい委員長たちに恵まれたな...と深く感謝しています。

質問：2022年度理事長予定者の横津優騎君に期待すること、伝えたいことはありますか？

北村：自分らしく、自分が想い描くようにやっていただきたいと思います。理事長の責任は重大です。だからこそ周りから色々なアドバイスをいただきます。しかし、回りの意見に振り回されないことが大事です。自分をしっかりと持って行動に移し、その姿を周りに見せることで、理事長として認めてもらえるようになると思います。

質問：最後に本紙をご覧になられている地域の方々、彦根青年会議所OBの方々、そして現役メンバーにメッセージをお願い致します。

北村：2021年度、理事長という大役を一年間務められたのは皆様の支えがあったものです。2021年度の事業には多くの地域の方々にご参加いただきました。今後も地域にとって価値ある事業を展開してまいりますので、2022年度以降も私たちの事業に参加していただければと考えております。また、地区大会では本当に多くのOBの方々のご助力をいただきました。OBの皆様の助けなしには成功しなかった大会です。心より感謝申し上げます。そして彦根青年会議所の現役メンバーへ。一間本当にお世話になりました。以前に比べるとメンバー数は少なくなったかもしれませんが、結束力は過去一番の年になったと感じています。チーム一丸となった組織のパワーは不可能をも可能に変える。彦根青年会議所の可能性を再認識した2021年度でした。最後になりますが、引き続き私たちは「奉仕・修練・友情」のもと、メンバーの成長とその先にある地域活性化にむけ、歩みを止めることなく邁進し続けてまいります。引き続き皆様方のご期待に沿えるよう精一杯努めてまいりますので、引き続き変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。



発見！ひこねの魅力体験記！総集編

連載記事「発見！ひこねの魅力体験記！」では、2市4町にある魅力スポットを彦根青年会議所メンバーが訪れ、体験した内容を記事とすることで、地域の知られざる魅力を紹介していきます。

12回目、最終回となる今回は、魅力スポット総集編＜後編＞！
メンバーが訪れた地域の魅力スポットを今一度ご覧ください。

6月号で掲載したのは、夢京橋キャッスルロード&四番町スクエア、国宝・彦根城を目前に情緒溢れる城下町を再現した、食事、土産物、全てが揃った観光名所です。夢京橋キャッスルロードの魅力の一つである数多くの食事処では、近江牛を使用した寿司、丼、麺、揚げ物♪お洒落な洋食屋から豊富なスイーツまで♪食べ歩きができるテイクアウトメニューも豊富です。夢京橋キャッスルロードに隣接する四番町スクエアは、大正ロマンあふれるまち、をキャッチコピーにキャッスルロードとはまた違う、モダンな外観で統一された建物、広場に設置されたガス灯など、新しくどこか懐かしさを感じれる街。国宝・彦根城にお越しの際には必ず立ち寄るのが、吉、ですよ♪



7月号で掲載したのは国宝彦根城、！言わずと知れた彦根市を代表する観光スポットです。築400年の歴史ある天守は、全国にある現存天守12城の一つで、特に姫路城・松本城・松江城・犬山城を含む国宝五天守と呼ばれています。城全体の保存状態が良く、石垣で構成された城郭平面構造が極めて良好な形で残っているため、江戸時代の政治体制をあらわす代表例とされています。また周辺には埋木舎、玄宮楽々園、旧西郷屋敷長屋門などが歴史的建造物も点在しており、古き良き歴史を感じさせてくれます。現在国宝に指定されている彦根城は2024年の世界遺産登録を目指し市政、自治体を中心に活動が続けています。現存する本物の歴史、を今一度観光に訪れてみてはいかがでしょうか？

8月号で掲載したのは多賀大社万灯祭、！毎年8月の初旬に3日間限定で開催される、滋賀県は多賀町の夏の風物詩。多賀大社は生命の神様であることから延命長寿、縁結び、厄除けの神様として信仰を集め、全国より年間約170万人が訪れる観光名所。お正月の初詣も有名ですが、万灯祭での夜の輝きは多賀大社の魅力を一層高めてくれます。設置される提灯の数は約1万2千個！一斉に明かりが灯されると、遠くまで連なる提灯の美しさに来場者は息を飲みます。また、万灯祭の開催期間中は数々の出店が立ち並びとともに、日替わりでのイベントも開催！一度見たら忘れることのできないその美しい景色を、来年はご家族と、ご友人と是非見に来てはいかがでしょうか♪



9月号で掲載したのは、2市4町の魅力スポット バイクツーリング巡り、！コロナ禍でも密にならない移動手段であるバイクを駆使し、彦根青年会議所メンバーが地域の魅力スポットを1日で走り抜けました！アニメ「けいおん」の舞台モデルとなった豊郷町「豊郷小学校旧校舍群」、愛荘町の「血染めのもみじ」で有名な国宝「金剛輪寺」、甲良町のこれまた国宝であり、アメリカのニュース専門放送局CNNの特集にて「日本の最も美しい場所31選」に選ばれた「西明寺」、多賀町はもちろん歴史深き「多賀大社」、米原市は滋賀県の最高峰(標高約1377m)日本百名山の「伊吹山」、彦根市は世界遺産を目指す彦根城！、数々の魅力スポットが点在する2市4町の魅力は語るよりもその目で確認するが良し！是非ともお越しくださいませ♪

10月号で掲載したのは陶芸体験「再興湖東焼 一志郎窯、さん！湖東焼とは幕末彦根藩の御用窯として名品を生み出し、栄えていた名窯。焼成技術は景德鎮(千年の歴史を持つ陶磁器の原点)、伊万里(有田焼と並び日本随一と称される陶磁器)に劣らない世界最高水準とされ、工芸品として美術的価値の高さと希少性から「幻の名窯」と称されています。そんな湖東焼の魅力に触れられる一志郎窯さんでは、湖東焼の食器等を展示、販売しているギャラリー、一志郎窯で制作した器を選んでいただき珈琲やお茶を飲んで頂く茶房、そして工房での陶芸教室をされています。陶芸教室では陶工、中川一志郎氏が優しく教えてくれます♪自分で作った自分だけの器を是非皆さんも作ってはいかがでしょうか♪



J C I 彦根月報をご覧いただいた方々へ 2021年度 総務広報委員会より御礼

1年間に及び、彦根青年会議所月報「J C I HIKONE」をご覧いただき、誠にありがとうございました。本紙は彦根青年会議所の活動内容を地域に住み暮らす方々、行政含めた行政諸団体の方々、彦根青年会議所の現役メンバー、そして彦根青年会議所を卒業された先輩諸兄姉の皆様にご覧いただくために発行してまいりました。また2021年度は近畿地区大会彦根大会を控えていたこともあり、新たに近畿地区93箇所にも及び各青年会議所にも郵送をさせていただいております。滋賀県は彦根市、米原町、多賀町、甲良町、豊郷町、愛荘町の魅力スポットを紹介させていただいたのは、この私たちの住み暮らす地の魅力を、多くの方々に知っていただくためです。また同時に彦根青年会議所公式WEBサイト及び各SNS(Facebook、Instagram)でも本紙の情報を配信させていただき、多くの方々に私たちの情報を発信させていただくこととなりました。2021年度は間もなく終わりを迎えますが、2022年度は新たに「広報ブランディング委員会」が本紙の発行をさせていただきます。そして来たる彦根青年会議所70周年に向けた新たな連載記事も予定しております。

最後になりますが、改めて本紙をご覧になっていただいた方々に深く感謝の意をお伝えするとともに、駄文による読みづらさ、失礼な表現があったことを略儀ながら本御礼をもってお詫び申し上げます。2022年度以降も引き続き本紙にご期待いただくとともに、今後とも彦根青年会議所月報紙に倍旧のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



2021年度総務広報委員会 一同



事業・例会案内

- 2021年 12月 10日 12月通常総会
- 2022年 1月 6日 1月度(新年交流)例会
～勇猛果敢！絆が創るこの地域(まち)の未来へ！～
会場：マリアージュ彦根4階 シャトアイアンの間
受付開始：17:30

